



2017年11月1日

各位

会社名 キョーリン製薬ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 穂川 稔
(コード番号 4569 東証第1部)
問い合わせ先 社長室 コーポレートコミュニケーション部長 宮木 修次
電話 03-3525-4707

業績予想の修正について

当社は、最近の業績の動向を踏まえ、2017年5月11日に公表した2018年3月期第2四半期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2018年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値の修正 (2017年4月1日～2017年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当り 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	54,600	5,300	5,600	4,500	61.21
今回修正予想 (B)	50,800	1,400	1,700	1,200	16.31
増減額 (B - A)	-3,800	-3,900	-3,900	-3,300	—
増減率 (%)	-7.0	-73.6	-69.6	-73.3	—
(ご参考) 前期実績 (2017年3月期 第2四半期)	54,628	3,663	3,921	2,684	36.56

2. 業績予想数値の修正理由

当第2四半期連結累計期間までの各事業における業績推移を勘案した結果、医療用医薬品において、国内新医薬品で一部主力製品、後発医薬品で他社向けの売上が予想を下回る見通しです。海外新医薬品では、導出品に関わる一時金収入が期ずれする見通しとなったことから、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益を下方修正いたします。なお、当初予想に見込んでいなかったガチフロキサシン点眼液に関する集団訴訟の和解関連費用 約4億円を特別損失として計上いたします。

3. その他

2018年3月期の連結業績予想(通期)につきましては、現在見直し中であり、当第2四半期決算発表時(11月6日予定)に開示させていただきます。

以上

補足資料

1. 連結売上高について（第2四半期連結累計期間）

（単位：億円）

	2017年3月期 第2四半期 （実績）	2018年3月期 第2四半期 （当初予想）	2018年3月期 第2四半期 （修正予想）	対前年 増減額	対当初予想 増減額
売上高	546	546	508	-38	-38
医療用医薬品事業	519	519	480	-39	-39
新医薬品	416	383	350	-66	-33
国内	413	357	344	-69	-13
海外	3	26	5	+2	-21
後発医薬品	103	135	130	+27	-5
ヘルスケア事業	27	27	28	+1	+1

2. 主要製品の売上高について（第2四半期連結累計期間）

（単位：億円）

	2017年3月期 第2四半期 （実績）	2018年3月期 第2四半期 （当初予想）	2018年3月期 第2四半期 （修正予想）	対前年 増減額	対当初予想 増減額
国内新医薬品					
フルティフォーム	45	54	54	+9	0
ウリトス	38	38	36	-2	-2
デザレックス	—	9	9	+9	0
キプレス（成人製剤）	115	47	39	-76	-8
キプレス（小児製剤）	63	55	51	-12	-4
ペンタサ	79	79	80	+1	+1
ムコダイン	44	37	39	-5	+2
後発医薬品					
モンテルカスト錠「KM」※	18	46	50	+32	+4

※モンテルカスト（キプレス）のオーソライズド・ジェネリック（AG）

（注）上記予想は本資料発表時において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は本予想額と異なる可能性があります。